

民生環境水道常任委員会行政視察報告書

大 須 賀 幸 雄

○静岡県磐田市

磐田市クリーンセンターの概要について

【所 見】

磐田市のクリーンセンターは平成23年4月に完成した施設で、灰溶融炉を併設しており、足利市でも更新時期の迫った南部クリーンセンターの建てかえには導入をしたい、見本となるような施設である。また、新しい焼却施設では当たり前であるが、発生する熱で発電能力3,000キロワットの発電機を動かし、さらに余熱は場外の温水プールや厚生施設のお風呂にも利用している。敷地は、足利市では現在の南部クリーンセンターの用地内、または隣接地への新築を希望しているが、磐田市も旧施設の老朽化に伴い、隣地に新築したものであった。

足利市がクリーンセンターの更新を急ぐのは、老朽化はもとより、自前の最終処分場に焼却灰が持ち込めずにいる現況から、焼却灰の減容と再利用を目途とするからである。そのため焼却灰を再利用するための灰溶融炉を備えた施設の建設を急ごうとするものである。焼却灰の減容にもっとも良い方法で、焼却灰の再利用まで図れるとされる溶融スラグをつくる溶融炉であるが、磐田市では溶融炉を稼働する機会が少ないとのことである。路盤材などの建設・土木資材としての有効に活用できるとうたわれる溶融スラグに需要がないのがその理由であり、実態のようである。究極の廃棄物利用策として注目を集める溶融スラグであるが、現実には厳しいと認識せざるを得ない。

また、排熱の利用であるが、現在の足利市南部クリーンセンターでは隣接する農業研修センターでお風呂に、また近隣のトマトの温室栽培に供給しているが、建てかえに伴い発電はもとより、農業研修センターと南幸楽荘を統合するような形で温浴施設を、また可能であれば温水プールなどの建設ができれば素晴らしいと感じた。

○静岡県袋井市

健康チャレンジ！！すまいる運動「健康マイレージ制度」について

【所 見】

「生涯にわたり健康でいきいきと暮らしたい」これは誰でも望むことである。足利市でも「健康寿命の延伸」を掲げ、健康づくりの推進に取り組んでいる。し

かし、特定健診等の受診率は低く、その対策に決定打はないのが現実である。

袋井市では市民の健康づくり計画の一環として「健康マイレージ制度」を取り入れており、その活動が高く評価されている。市民それぞれが健康作りに取り組み、その実践結果によりポイントが付与され様々な景品と交換できるというものだ。私はこのポイント制度とその景品である、商品券やお食事券、各種施設の利用券などに注目した。これらの景品はすべて袋井市が購入し、用意しているようであるが、足利市でこの制度を取り入れるならば、これを市中の商店やレストラン、各種企業などに呼びかけ、各種サービスを無償で提供していただけるよう、お願いしたらよいと思う。健康的なおいしい料理を提供するレストランから食事券を、健康に良いと売り込みたい食品を製造・販売する企業から製品を、体力づくりに役立つスポーツ施設やフィットネスクラブなどから利用券を提供してもらうなど、企業側も宣伝効果をねらえるとなれば協力いただけるのではないだろうか。

官民一体となって健康づくりに取り組むことで、健康寿命を延ばし、健康保険への負荷の軽減も図れるなど多くのメリットが期待できる。ぜひ積極的に取り入れ実施していただきたい事業であると思う。